

平成二十七年 度

東京家政大学附属女子中学校

入 学 試 験 問 題 第 一 回 〔 国 語 〕

〔 注 意 事 項 〕

- ・ 問題は、一ページから九ページまであります。
- ・ 解答はすべて解答用紙の定められた欄に記入してください。
- ・ 字数制限のあるものは、句読点、記号を含みます。

## 1

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

小学校六年生のさつきは、スキージャンプの天才少女・理子に誘われて、一緒にジャンプを飛ぶようになりましたが、順調に上達していくさつきに対し、理子はスランプで飛べなくなっています。

「一番最初に注イジャンプしたときは、① なんと約束もなかったでしょ？ 理子は誰かに、あなたは注イジャンプの天才少女・理子に誘われて、一緒にジャンプを飛ぶようになり

ました。順調に上達していくさつきに対し、理子はスランプで飛べなくなっています。」

「理子は誰かに、あなたはジャンプの天才少女・理子に誘われて、一緒にジャンプを飛ぶようになり

ました。順調に上達していくさつきに対し、理子はスランプで飛べなくなっています。」

「理子は誰かに、あなたはジャンプの天才少女・理子に誘われて、一緒にジャンプを飛ぶようになり

ました。順調に上達していくさつきに対し、理子はスランプで飛べなくなっています。」

「理子は誰かに、あなたはジャンプの天才少女・理子に誘われて、一緒にジャンプを飛ぶようになり

ました。順調に上達していくさつきに対し、理子はスランプで飛べなくなっています。」

「理子は誰かに、あなたはジャンプの天才少女・理子に誘われて、一緒にジャンプを飛ぶようになり

ました。順調に上達していくさつきに対し、理子はスランプで飛べなくなっています。」

「理子は誰かに、あなたはジャンプの天才少女・理子に誘われて、一緒にジャンプを飛ぶようになり

ました。順調に上達していくさつきに対し、理子はスランプで飛べなくなっています。」

「理子は誰かに、あなたはジャンプの天才少女・理子に誘われて、一緒にジャンプを飛ぶようになり

ました。順調に上達していくさつきに対し、理子はスランプで飛べなくなっています。」

「理子は誰かに、あなたはジャンプの天才少女・理子に誘われて、一緒にジャンプを飛ぶようになり

「理子。ジャンプ、嫌い？」

理子は首を横に振った。

「ううん、大好きだよ」

はつきりと、力強く、理子は断じた。「大丈夫。私、もう答えは出してるの。決めたからおれにも来たんだよ」

④ やめない。 注口 斉藤選手を見返す。

理子の手がさつきの手をぎゅつと握り返してきた。

歩いて帰るはずの道のりの半分くらいで、陽はすっかり落ちて、あたりが暗くなってしまった。

歩けないこともないけれど、停留所と待合小屋を見つけて、そこでバスを待つことにする。理子は鞆の中から財布を取り出し、小銭を確認した。

明日から練習に行くと、理子は言った。

「うん、うん。一緒に行こう」

(今までみたいに)

「あのね、おじさんとおばさんは私の『弱点』のヒントをくれたの」

「じゃあ、『弱点』がもしかしてわかった？」

確認するさつきに、理子はこっくりと首を縦に振った。

「自慢に聞こえるかもしれないけれど、私、この夏みたいに負けたことってなかった。そうなの、ジャンプを始めてすぐにうまく飛べるようになって、それからなにつつまずかずに来た——ちょうど今のさつきと同じ。おじさんとおばさんに言われて順を追って振り返ってみて、これかな、って思った」

斉藤選手が『弱点』を指摘したのは、まだ理子が勝ち続けていた冬のシーズンだった。

「もしかして、負ける経験をしていないことがそうかもしれない……ううん、それだけじゃなくて」

理子は自分自身に言い聞かせるような口ぶりだった。

「負けて、注ハ スランプの時期を過ごして、辛い思いをして、なおかつそれを乗り越える、そんな経験のことを、斉藤さんは言ってたのになって。もちろん、これが本当に正解かどうかはわからないけれど」

理子は待合小屋の中のベンチに腰かけながら、その場にさつきしかないのに、満座の聴衆を前にしているかのように、きりと背を伸ばした。

「負けを知って、それでも諦めずに、投げ出さずに練習を続けて、苦しい時間を耐える経験は、絶対マイナスにならないと思うの。たとえば、最終的に報われなかったとしても」

⑤ その言葉は、とてもスムーズにさつきの胸の内に落ちた。

(ああ、そうだ。さつとそれとおりだ。)

そして、さつきの頭に今よりも幼い理子の声がよみがえる。

(あれと同じだ)

注口 斉藤選手は11年上のライバル選手。以前の大会のときに、理子に対して「あなたには弱点がある」と指摘した。

「理子は正しいよ」

さつきは心をこめて告げた。

「だって、理子自身が最初に言ってたでしょ？」

なにを？ という表情をした理子に、今度はさつきからあの言葉を返す。

⑥ 「向かい風は、大きく飛ぶためのチャンスなんだよ」

理子の唇が、あ、という形に開き、続いてきつく引き結ばれ、それからゆつくりと微笑みを作る。

「忘れてなかったんだ、さつき」

「忘れるわけないよ」

理子は、宵の明星が輝く西空を見た。

「今はチャンスだったんだね。だから」

もう逃げない。

どんなに辛くても這いあがつてみせる。

「さつきは私に勝ったと思っていないと言ってくれたけど、事実私は負けたんだから」

理子の横顔はきりと凛々しく、暗がりの中でもなによりきれいだった。

「今度は私が、さつきを追いかける。そして、追い抜く」

さつきは、まだこんな経験をしていないんだから——理子は語気も強く言い切る。

「これ乗り越えられたら、私は前より強くなる。負けたくない。さつきにも、甲斐さんにも、斉藤さんにも。なにより、逃げたい気持ちにも」

乾ルカ「向かい風で飛べ！」より

【一部に表記の変更があります。】

問一 —— 線①「なんの約束もなかった」とは、どういう意味ですか。解答欄の言い方にあうように二

十字以内で答えなさい。

問二 —— 線②「入団したばかりのとき」とありますが、理子が入団したばかりのときは、どういう気

持ちだったと考えられますか。「ジャンプ」という言葉を必ず用いて、解答欄の言い方にあうように、二十字以内で答えなさい。

問三 —— 線③「さつきは思い切って、一番重要な問いを投げかけた。『理子。ジャンプ、嫌い？』と

ありますが、さつきは、なぜ、この問いが一番重要だと思ったのですか。次のように説明したとき、に入る適切な言葉を、「説得」という言葉を必ず用いて、二十字以内で答えなさい。

もし、理子が「嫌い」と答えたら、ことは難しいと思ったから。

問四 ― 線④「やめない。斉藤選手を見返す。理子の手がさつきの手をぎゅっと握り返してきた」とありますが、理子のこの決意が動作に表れている一文を、ここより前からさがし、最初の五字をぬき出して答えなさい。

問五 ― 線⑤「その言葉は、とてもスムーズにさつきの胸の内に落ちた」の説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 理子の言葉に対して、さつきが素直に納得する様子。

イ 理子の言葉を聞いて、さつきが深く感動している様子。

ウ 理子の言葉で、さつきの昔の記憶があざやかによみがえる様子。

エ 理子の言葉が、さつきの頭の中にしっかりと刻みこまれた様子。

問六 ― 線⑥「向かい風は、大きく飛ぶためのチャンスなんだよ」とは、具体的には理子がどういう経験を積むチャンスだということですか。解答欄の言い方にあうように、三十文字以内で答えなさい。

問七 さつきがジャンプに取り組む理由を次のようにまとめたとき、に入る適切な言葉を、本文中から十三文字でぬき出して答えなさい。

ジャンプをすることが好きで、とくにし、また、いつかちゃんと理子に勝たたいと思っているから。

問八 本文中から読み取れる理子の説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア もうジャンプをやめる決意をしていたが、さつきの懸命な呼びかけに心を動かされ、やはりジャンプを続けようと思い直している。

イ ジャンプ選手として伸びやみ、自信が揺らいでいたが、さつきとの会話を通して、自分の弱点についてヒントを見出しかけている。

ウ さつきと話す前に、ジャンプを続けてスランプから立ち直ろうと決めていたが、さつきと話すうちに、さらにジャンプへの思いを新たにしている。

エ 敗北したショックと悔しさから、ジャンプをやめようかと悩んでいたが、ジャンプに夢中なさつきの様子を見て、やはり続けようかと迷っている。

2

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

地球は四十六億年前に、太陽といっしょに誕生<sup>(a)</sup>したと考えられています。どのようにして生まれたのでしょうか。その後、約三十八億年前に生命のソセン<sup>(b)</sup>が生まれたらしいことは、古い岩に残された化石からわかりました。以来、生物はさまざまに姿を変え、ふくざつな体へと進化して人間が生まれました。<sup>(1)</sup>何億年も前の生物の化石から、その歴史がたどれるようになったのです。

太陽のまわりを回る惑星<sup>(c)</sup>は八個ありますが、<sup>(2)</sup>今のところ地球でしか生命が見つかっていません。なぜなのでしょう？ そして、私たちが地球に住み続けるためにはどのようなことをしなければならぬのでしょうか？

地球という生命があふれる星について、考えることにしましょう。

(中略)

何億年前の生物の化石がなぜ見つかるのでしょうか？

地球上では、約三十八億年前に生命が誕生して、その後ふくざつな体をもつ生物へと進化してきました。その生物の遺骸<sup>(d)</sup>が化石として残っているのはほとんど六億年くらい前のものからです。

生物の化石とは、死んだ生物の体が地中に埋<sup>(e)</sup>まって、そのままの形でとかされたり壊されたりしないで残ったものです。地中に埋<sup>(e)</sup>まっても、なかなかとかされたり壊されたりしないものとして骨や殻<sup>(f)</sup>がありますね。これらにはかたい金属成分が含まれているので、水や熱や細菌<sup>(g)</sup>におかされたり、強い力で押しつけられたりしても、なんとか形をたもっておられたのです。それらの骨や殻が土や岩石の間にはさまって化石になりました。

六億年前からの化石が見つかったのは、このころから骨や貝殻をもった生物が地球上に現れてきたことを意味します。それ以後、骨や殻をもつ生物が<sup>(c)</sup>キユウソクに増えたため、たくさんの化石が見つかったのです。

逆に、六億年よりも以前にも生物はいたのですが、そのほとんどが植物であったり、やわらかい体だけの動物でした。それらは地中に埋められると、水や熱でとかされたり、強い力でおしつぶされたりして、化石としてほとんど残らなかつたのです。しかし、数少ない化石を見つけ出し、それを時間順に並べて、地球上での生命がどのように変化してきたかを調べています。化石は生物の歴史をたどる年表のようなものといえるでしょう。

※

その理由は、地球にだけ液体の水があり、空気があり、熱すぎもせず寒すぎもしないという、生命をもつ生きものがすむのに適した環境<sup>(h)</sup>がととのっているためです。

おとなりの金星は二酸化炭素の<sup>(d)</sup>厚いガスでおおわれており、そのために温度が四五〇度をこえる熱地獄<sup>(i)</sup>になっています。また、火星には水や空気がほとんどありません。どちらの星でも生命が誕生

したり、生きのびることができないのです。

ではなぜ、地球だけが生きもののすめる環境になったのでしょうか？ なぜ金星や火星はこうなっ  
てしまったのでしょうか？ それには、<sup>③</sup>二つの条件があることがわかりました。

一つの条件は、惑星が光と熱を送ってくれる太陽からほどよい距離にあることです。地球は水が液  
体として存在できる条件を満たしています。水が液体であるからこそ海となって地上に広がり、自由  
に形を変えるので私たちが利用しやすいのです。熱すぎると水は気体の水蒸気になって上空にのぼっ  
てしまうので、地上では生物が使えなくなります。逆に、寒すぎると水は固体の氷になるので、かんた  
んに生物の体にとりこむことができません。太陽に近い金星は熱すぎたため、水が蒸発してなくなっ  
てしまいました。地球では海の水が二酸化炭素を吸収してへらしくれましたが、金星は海がなく、二  
酸化炭素が大量に残り、その<sup>注イ</sup>温室効果で熱地獄になってしまったのです。

もう一つの条件は、惑星の重さが関係しています。地球は重くて<sup>注ロ</sup>万有引力が強いので、空気が地  
球の表面に残ることができました。また、水が水蒸気になって上空にのぼっても、雨や雪となって地  
上に戻ってきます。空気や水が地球から失われずにすんでいるのです。これにくらべて、火星の重さ  
は地球の八分の一くらいしかありません。そのため、火星では万有引力が弱いいため水や空気を引きつ  
けておくことができず、宇宙へ<sup>エ</sup>二げてしまい、わずかな二酸化炭素しか残っていません。  
このように考えると、人間は地球でなければ生きることができないことがわかりますね。

池内丁「宇宙に果てはあるの？」より

【一部に表記の変更があります】

問一——線①「何億年も前の生物の化石から、その歴史がたどれるようになったのです」について、  
次のそれぞれの問いに答えなさい。

I このような化石をたとえている言葉を、本文中から二字でぬき出して答えなさい。

II 何億年も前の生物が、化石として形を残していれたのはなぜですか。解答欄の言い方にあ  
うように、四十字以内で答えなさい。

問二——線②「今のところ地球でしか生命が見つかっていません」とありますが、それは、地球がど  
ういう特徴をもった場所だからですか。具体的に説明している部分を本文中から三十字以内で  
さがし、最初と最後の五字をぬき出して答えなさい。

<sup>注イ</sup> 温室効果は大気中  
の二酸化炭素など  
が熱を吸収して気  
温を上げることで、  
万有引力はすべて  
の物の間にはたら  
く、互いに引きあ  
う力。物が重いほ  
ど強く働く。

問三 本文中の ※ に入る小見出しとして最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えな  
さい。

A 人間はなぜ地球に住んでいるの？

I なぜ宇宙で生物のいる星がみつからないの？

ウ 人間だけがなぜ地球で進化できたの？

E 地球の環境に人間が適応できたのはなぜ？

問四——線③「二つの条件」について次のようにまとめました。これを見て、あとのそれぞれの問い  
に答えなさい。

| 地球が生きもののすめる環境になる条件                                                                                          |                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 一つ目の条件                                                                                                      | 二つ目の条件                                                                        |
| 地球が太陽からほどよい距離にある。                                                                                           | 地球は重くて万有引力が強い。                                                                |
| <div>海の水が <span style="border: 1px solid black; padding: 0 10px;">II</span> 。<br/>生物が水を使える<br/>ようになる。</div> | <div><span style="border: 1px solid black; padding: 0 10px;">III</span></div> |
| 温室効果がやわらぎ、<br>気温が安定する。                                                                                      |                                                                               |

I 表中の I に入る言葉を、本文中から十五字以内でぬき出して答えなさい。

II 表中の II に入る言葉を、二十字以内で答えなさい。

III 表中の III に入る言葉を、二十字以内で答えなさい。

問五 本文の内容とあっているものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

A 四十六億年前に地球に生まれた生命は、私たち人間などへと進化していき、地球は生命のあ  
ふれる星になった。

I 地球には、植物の化石はまったく残っていないため、その変化の歴史をたどることは難しい。

ウ 太陽とともに誕生したと考えられている地球には、火星にはない二酸化炭素が存在したため、  
生物が繁栄することができた。

E 生物がすめる環境がととのっている地球は、現在、ゆいいつ人間が生きることのできる星で  
ある。

問六 〰〰線 ③・④・⑤のカタカナは漢字に、①・②の漢字はひらがなに直しなさい。

- ① 誕生                      ② ソセン                      ③ キュウソク  
④ 厚(い)                      ⑤ ニ(げ)

3

次の問いにそれぞれ答えなさい。

問一 次の1～5の慣用句の( )内に入る動物の漢字として、最も適切なものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- 1 ( ) が合う                      ……相手と気が合うこと。  
2 ( ) の歩み                      ……進みぐあいの遅いこと。  
3 ( ) の一声                      ……有力者の一声で議論がまとまること。  
4 ( ) をかぶる                      ……本性をかくし、おとなしいふりをする事。  
5 ( ) 寝入り                      ……眠ったふりをする事。

ア 鶴 つる    イ 狸 たぬき    ウ 馬 うま    エ 猫 ねこ    オ 牛 うし

問二 次の1～5の――線部を敬語表現に直すとき、最も適切なものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- 1 先生がさきほど職員室にいるのを見かけました。  
2 校長先生が体育館で夏休みの過ごし方について話す。  
3 それではお約束どおり、私は今日の五時に行くことにします。  
4 食べる際にはやけどにご注意ください。  
5 先生の絵を見ることができてとてもうれしいです。

ア いらっしゃる                      イ めしあがる                      ウ ご覧になる                      エ お話する  
オ さしあげる                      カ 拝見する はいけん                      キ うかがう                      ク お話しになる  
ケ いただく                      コ 申す                      サ 訪問される                      シ おる

